

Make a challenge! 明日を見つめて

昨年度最優秀賞受賞校の活動内容から



【小学校の部】

福島県いわき市立小名浜第一小学校

平成19年度から継続してエネルギー教育に取り組み、震災以降は防災エネルギー教育の視点を追加し全学年で実践しており、情報活用能力や言語活用能力の育成、読解力・論理的思考力の育成等を目指しています。職員の人事異動があっても引継ぎができる体制を整え、近隣のいわき明星大学や企業、自治体等とも連携を図り、エネルギー問題を幅広く、しかも様々な教科の中で学習しています。なお、学習成果は学校便り、学年便り、ホームページ等で保護者や地域へ発信を行っています。

【中学校の部】

北海道札幌市立宮の森中学校

「自然との共生」を志向し、理科を中心に各教科でも、エネルギー教育に関連性を持たせながら幅広く実践しています。また「震災と復興」をテーマとした修学旅行や自治体や大学、NPO、企業、学会等との連携など積極的な活動を行っています。今後は、中学校3年の理科「エネルギー資源と放射線」の学習を通じ、次世代を生きる子どもたちに科学を正確に捉えることができる力がつくよう取り組みます。そして、実践を通じ、子どもたちに将来のエネルギーについて考える判断力・知識等に身につけてほしいと思います。



【高校・高専の部】

山形県立東根工業高等学校

ものづくり委員会を設置し、その1つとして2008年からエネルギー環境教育に取り組んでいます。具体的には、手作り太陽光パネルを100枚作成し、学校の消費電力の一部として使用しています。また「世界規模で環境を考え、学校と地域で実践するエネルギー教育」をテーマとして、校内では再生可能エネルギーを、地域では小学校や団体へ出前講座を行っています。また被災地である宮城県東松島市の小・中学校へも出前授業を継続しています。今後も様々な学習を通じ、未来を担う人材の育成につながるエネルギー教育を続けていきたいと思っています。



第8回

エネルギー教育賞



応募締め切り

2013年
9/10(火)
必着!

主催：一般社団法人 日本電気協会(電気新聞)

後援：経済産業省/文部科学省/環境省/日本エネルギー環境教育学会
独立行政法人 国立高等専門学校機構/一般財団法人 省エネルギーセンター
電気事業連合会/一般財団法人 電力中央研究所(申請中・予定含む)

特別協力：日本教育新聞社

電気新聞

(一般社団法人 日本電気協会新聞部)

一般社団法人日本電気協会新聞部が発行する電気新聞は、電力・エネルギー業界で唯一の日刊専門紙です。1907年の創刊以来、国内外のエネルギー政策をはじめ、エネルギーの需給動向、電力会社の経営、電力関連の技術開発などの情報を提供しています。読者は企業、自治体、官公庁、海外など多岐にわたっています。

第8回 電気新聞

「エネルギー教育賞」 応募要項

募集期間(予定)
2013年7月1日(月)～9月10日(火)まで

趣旨

一般社団法人 日本電気協会(電気新聞)では、エネルギー教育の実践に取り組む学校現場を応援する顕彰制度として、2006(平成18)年度より「エネルギー教育賞」を実施しております。本年度の第8回は、下記のとおり募集いたします。

本制度は日本エネルギー環境教育学会のご後援をいただいております。応募書類の書き方など、学会員からアドバイスを受けることも可能です。たくさんのご応募をお待ちしております。

表彰の内容(予定)

1 エネルギー教育賞【最優秀賞】(計3件)

小学校の部1件、中学校の部1件、高校・高専等の部1件——
受賞校にはそれぞれ表彰状と、副賞の賞金「50万円」を贈ります。

2 エネルギー教育賞【優秀賞】(計20件程度)

小学校の部10件程度、中学校と高校・高専等の部合わせて10件程度——
受賞校にはそれぞれ表彰状と、副賞の賞金「10万円」を贈ります。

3 奨励賞

入賞者以外の応募者に活動事例集および記念品を贈ります。

※(表彰対象でも記したように)入賞校のエネルギー教育活動を支援した自治体・事業者・団体等については別途表彰する場合があります。このほか選考委員会特別賞を設けて表彰することがあります。



選考委員

「エネルギー教育賞」の選考委員につきましては、以下の方々をお願いいたしました。

- 有馬 朗人 氏 (武蔵学園長、元文部大臣) = 選考委員長
- 小田 公彦 氏 (山形大学教授)
- 木村 孟 氏 (東京都教育委員長、元東京工業大学学長)
- 熊野 善介 氏 (日本エネルギー環境教育学会会長、静岡大学教授)
- 澁澤 文隆 氏 (帝京大学教職大学院教授)
- 東嶋 和子 氏 (科学ジャーナリスト)
- 三田 敏雄 氏 (中部電力会長)



選考委員長 有馬朗人氏

表彰の対象

エネルギー教育賞【最優秀賞・優秀賞】

「エネルギー教育」活動を前年度(2012年度)に行い、本年度も継続している小学校、中学校、高等学校および高等専門学校

取り組み内容としては

- 1 全体指導計画に基づく、全校挙げて「エネルギー教育」「環境教育」の中で、エネルギーにかかわる問題を取り上げている事例
- 2 および、●教科や総合的な学習 ●学年 ●学科(高校・高専) ●課外活動などで、特色あるエネルギーに関わる学習や取り組み事例

——を選考対象とします。

※最終面に、昨年度最優秀賞受賞校の活動事例を紹介



昨年度のエネルギー教育賞高校・高専の部で最優秀賞の表彰を受ける山形県東根工業高等学校(左)

応募の方法

所定の書式(電気新聞ホームページよりダウンロードできます)に、下記の項目をご記入の上、事務局に郵送してください。書式や、図表・写真使用は自由ですが、A4判6ページ以内に収めてください。

※応募書類等は原則返却いたしません。なお、応募内容を事例集や電気新聞の記事で活用させていただく場合があります。また、冊子、DVDやCD等の参考資料を添付いただいても、審査の都合上、目を通すことはできません。ご了承下さい。

【応募書類の記入項目】

- 1 貴校のアピールポイント(箇条書き5項目以内)
- 2 エネルギー教育の狙いや教育課程上の位置づけ、活動期間
- 3 具体的な学習・活動内容と授業時間等
- 4 学習、活動を通じての子供たちの反応、変化
- 5 これからの学習・活動計画や方向性
- 6 地域や事業者等との連携状況

選考方法および発表方法(予定)

全応募書類より、下記の観点から選考を行います。

- 1 学習の目的や内容、教育課程上の位置づけ
- 2 創意工夫のあり方
- 3 子どもたちの変化の度合い
- 4 活動の継続性
- 5 活動の正確性
- 6 地域等との連携性

受賞校は11月初旬の電気新聞紙上およびホームページ、日本教育新聞紙上で発表します。表彰式は12月上旬に最優秀校等を招いて、東京都内で行う予定です。

応募・問い合わせ先

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館3階

電気新聞 総務局内「エネルギー教育賞」係 宛

TEL: 03-3211-1558 FAX: 03-3201-4738 E-mail: kyouiku@denki.or.jp

電気新聞ホームページ: <http://www.shimbun.denki.or.jp>

エネルギー教育賞 検索